

## なぜ細菌培養サンプルを採取するのか？

- 野外環境下で採取された質の良い細菌培養サンプルは、タイムリーに信頼できる鶏病診断を下し、効果的な治療をするために必要不可欠です。



## 方法

### 細菌学的サンプリングのために考慮すべき重要なこと

- サンプルは生きているか死後間もない動物から採ります。
- サンプルは病気を発見したら、できるだけ早く病変部位から採ります。
- サンプルは病変の辺縁部から採ります。なぜなら細菌の増殖はその部位が最も活発だからです。
- サンプル採取中の交差汚染を避けるために無菌操作が必須です。

**注**—最近抗生物質による治療を受けた動物から採ったサンプルは、細菌分離のためにはほとんど価値がありません。

### サンプリングに必要な器具

- ハサミ
- メス
- ピンセット
- へら
- 白金耳
- アルコール消毒液のスプレー
- 手袋
- プンゼン式ガスバーナー
- 個々の容器に入った滅菌スワブ
- 滅菌輸送用容器

被検物	例
液体	血液、卵内容、滲出液 (組織から出た液体)
スワブ	体表、体腔
組織	内部臓器
排泄物	糞便

**注**—細菌培養のために必要な検体の種類は、疑う病気によって大きく異なります。個々の病気について必要な検体は獣医が決めます。疑われる病気について、適切かつ必要なすべての検体を採取することを常に考えます。不適当な検体の採取は信頼のおけない細菌検査の結果を招くかもしれません。

## 細菌学的サンプルの採取方法

サンプリングをするすべてのトリは、訓練を受けた人が人道的に安楽死をさせます

### ステップ1 作業する場所とサンプリング器具を準備します

- 認可消毒薬で作業場を消毒します。
- プンセン式ガスバーナーで器具を火炎滅菌し、使う前に冷まします。



### ステップ2 サンプリング

#### 組織サンプルの採取方法

- 常に手袋をはめます。
- 器具をチェリーレッド色になるまで焼灼し、使う前に冷まします。
- メスを用いて組織の一部を切ります（約4 cm<sup>3</sup>）。
- ピンセットを用いて組織を滅菌容器に入れます。もし複数の組織サンプルを採るのであれば、それぞれ別々の容器に入れます。
- サンプルを細菌検査機関に送ります。

#### スワブサンプルの採取方法

- 新鮮組織サンプルが採れない場合、スワブを採ります。
- スワブを採ろうとする臓器表面、関節や体腔を露出させます。
- 滅菌スワブをサンプル材料に突っ込むか、サンプルの液体に漬けます。
- スワブを適当な細菌学的輸送用培地（市販）が入った滅菌チューブに入れます。



**注**—腸からの細菌学的サンプルは、解剖中に腸内容物で他の臓器が汚染されるのを避けるため、常に最後に採取します。

## 検査機関へのサンプルの送付

- 漏れない容器に入れてサンプルを提出します。
- 容器はトリの由来、検体の情報と採取日をはっきりとラベルします。
- サンプル提出フォームには、サンプルのすべての関連情報を書き込みます。このフォームは分析を行う検査機関から入手することができますが、次のことを含む必要があります：
  - 感染したトリの日齢と性別を含む、事例の簡単な病歴。
  - 投薬に関する情報。
  - 未確定診断名と鶏群内の病気の流行。
  - 採取した組織に関する情報。
- サンプルは、アイスパックを入れて、できるだけ早く検査機関に送ります（24時間以内に到着する必要があります）。
- もし遅れるのであれば、サンプルを4℃で冷蔵します。
- 正しく採られたサンプルでも不適切な輸送によって無効になることがあります。
- 嫌気性細菌（例えばクロストリジウム、キャンピロバクター）の分離のために採るサンプルは、獣医の推奨する特別なサンプリングと輸送コンディションが必要です。
- サンプリングの優劣は、細菌学的検査結果の信頼性を左右します。

サンプル送付のための漏れない容器の例

